

1		HRTと一緒にタイトルを音読し、意味を推測させ、これからアメリカの小学生の一日をスライドを見ながら学んでいく事を伝える。
2		次のスライドへの示唆
3		アメリカの学校でよく使われる、手を使ったサインを学び実際に使ってみる。これは「静かにして注目しなさい」という意味のサインなので、実際に静かになるまで実行する。
4		学校紹介の前にまずアメリカの位置、首都など基本情報を確認する事を知らせる。
5		アメリカが中心に描かれた地図を見て「国が変わると物の見方が変わる」事を実感させる。日米間の飛行時間についても触れる。
6		アメリカには「都道府県」にあたる「州」があることを学ぶ。またアメリカの首都がどこかを確認する。
7		名前を音読し、Mikaがなに人が推測させる。声を実際に聞かせ日本人ではない事を示す。外見に関わらずアメリカで生まれた人は「アメリカ人」と呼ばれる事を理解させる。
8		姉妹といとこの外見の差こそあれ、血がつながった家族でありどちらも「アメリカ人」と気付かせる。「多民族国家」とはどういう事なのかを実際の家族写真を見て理解させる。
9		Mika 姉妹といとこ達がなぜ大きく異なる外見を持つのか家系図を見ながら理解させる。
10		クラスメートには様々な人種が混ざり合っている事を見て、彼らがアメリカ生まれであれば、たとえ人種が違っても「アメリカ人」である事を再確認し、外見に大きな差があってもみんな仲良く差別なく学校生活を送っている事を伝える。
11		これから学校の様子のスライドが始まる事の示唆
12		今朝、家を出てくる時にどんな挨拶をしたか聞く。英語では「いってらっしゃい」「行って来ます」などの決まった表現がない＝直訳がない事を知る。
13		今朝どうやって通学してきたか聞く。アメリカはスクールバスが主要だが、ほぼ同じ割合で自家用車通学が多い事も説明する。また若干だが徒歩通学もある事を知る。なぜ日本と通学方法が大きく異なるか、地理的な背景も含め考えてみる。
14		アメリカでは小さい頃から責任感を養う仕事を学校で任される事を伝える。(もちろん大人のボランティアもいる。)
15		アメリカの校舎と日本の校舎の違いを建物の広さ、高さ、色、構造など様々な面から気づかせる。また共通点も探してみる。
16		アメリカでも家の中でも靴を脱ぐ家庭が増えてきたが、まだ靴履きは普通であり、学校でも同様。上履きもなければ体育館シューズもない事を日本と比較する。
17		《音声》ベルの音 教室を最初に開錠する人は誰か、出入りの自由はあるか、など日本と比較し、理由も考えさせる。
18		《動画》教室内の様子 動画を見たあと自分達の教室内の様子と比較して意見を出させる。

19		教室を見まわし、自分の教室と写真の教室の違いを細かく探していく。(黒板/ホワイトボード、机の様子、掲示物、子供達の持ち物等…)
20		日本の時間割と違い、学年ごと、年間ではなく担任が時間割を決める事を知る。始業・終業時間、学習する教科など、色々と比較してみる。
21		《音声》忠誠の誓い ALT やボランティアができれば生で聞くのもよい。 豆知識> アメリカ人なら幼稚園から毎日するので必ず出来る。
22		スライドの中で紹介されている Literature Circle など、読書の形が日本と異なりかなり自由である事を学ぶ。またタブレットも OK。
23		アメリカでは授業の合間におやつを食べてもいい事を説明する。「子供は常にエネルギー補給が必要だし、空腹では学習に集中できない」と言う考え方が背景にある事を知る。考え方の違いを学ぶ。
24		アメリカのランチのシステムを説明し、何を、どういう場所で食べているのかもしっかり写真を観察する。
25		アメリカの子供達がどんなものを食べているのか、自分達の給食と比較する。
26		お弁当を持参する子も多い。どんな場所で何を食べているのか自分達との類似・相違点を探す。
27		遊具や地面の様子など比較する。 豆知識> 遊具の周りにはウッドチップがある。また芝生のある所も多い。その代わりに日本のようなトラックなどを備えた学校は見かけない。
28		《動画》校庭で遊ぶ子供たちの様子 アメリカの小学生たちの校庭での様子を見て自分達と比較してみよう。
29		アメリカの生徒は清掃をしない事を学んだ上で、なぜ日本は掃除をするのかメリットを考える。 注) 良し悪しをのみの感想で終わらないように留意
30		簡単な下校時の挨拶を練習する。日本のように全員でする「起立・気をつけ・礼→先生さようなら」のような挨拶方法は存在しない事を学ぶ。
31		スライドを終了する前に一つ発音練習をするので前置き
32		日本人には困難な発音の 1 つである TH の音をしっかり練習する
33		この学校がアメリカの一例であり、勿論すべての学校が同じではない事を説明してください。
34		日米協会では先生の負担を軽くするため、児童からの質問にアメリカから直接回答します(英語・日本語 OK)。気軽に質問をお寄せください。
35		ありがとうございました。
36	まとめの 5 分	振り返りをする。どんな写真が印象的だったか、日本との違いで際立った点は何かを書く。